

SDGsで事業に追い風 かお

グリーンツール(株)
社長
むら かみ かおり
村上 香さん
(48)



笠岡市の本社工場

▷グリーンツール(株)=笠岡市みの越17、電0865・63・3325。同社は1978年4月設立。資本金8千万円。従業員数210人。



▷村上香=1976年7月28日、福山市出身。中国短期大学卒業。2000年に入社。監査役を務め、代表取締役専務を経て、昨年7月から社長。岡山県中小企業家同友会倉敷支部、岡山県ものづくり女性中央会では理事。趣味は食べ歩き、旅行。福山市内に住。

「ドリルといった一般的に知られる工具や段付バニシンググリーマのような特殊工具の製造を主体に、笠岡市の工場では対応できなかった工具の製造・再研削が対応可能となりました。工具の再研削では、1週間の納期が一般的ななか、物流の2024年問題が障壁とさ

切削工具再研削業などのグリーンツール(株)(村上香社長)は、群馬県吾妻郡に開設した関東工場をきっかけに受注の拡大をめざす。2023年に事業継承した新品工具OEMメーカーの(株)インカロイのドリルといった穴開け工具やリマなど、仕上げ工具の製造ノウハウを活かすほか、工具の再研削では、多種多様の品種へ対応力を広げた。SDGS(持続可能な開発目標)が浸透するなか、主力とする工具の再研削の受注には期待が持てる。昨年9月に社長に就いた村上社長に事業展開を聞いた。

「関東工場を開設されました。稼働状況などについてお話しください」
「ドリルといった一般的に知られる工具や段付バニシンググリーマのような特殊工具の製造を主体に、笠岡市の工場では対応できなかった工具の製造・再研削が対応可能となりました。工具の再研削では、1週間の納期が一般的ななか、物流の2024年問題が障壁とさ

「関東工場の開設で自社の工具ブランド「GTシリーズ」の開発面については「新しい技術を取り入れることでラインナップを拡充させます。GTシリーズは2000年代に投入しており、工具の再研削が専業だった弊社は、工具販売から再研削の受注にも繋げることが出来ています。使用出来なくなった工具の買取にも取り組み、工具を循環させるなどSDGSに則した事業として、営業マンが客先からの要望を取り入れた工具開発を行い市場ニーズを捉えたい」
「サプライチェーン(製造供給網)では環境対応が急がれます。対策は

「製造業の女性経営者同士で、課題を出し合い、解決策を共有しています」
「2024年5月期は売上高14億円と増収でした。会社の展開をお話してください」
「非鉄金属の加工などに使用するダイヤモンドチップの再研削など、国内の研削業ではあまりない再研削技術が強みです。営業マンの機動力を武器に市場のニーズを捉えた事業戦略を打ち出し、会社を成長軌道に乗せたい」

「製造業の女性経営者の勉強会「岡山県ものづくり女性中央会」では理事職を務めておられますね」
「製造業の女性経営者同士で、課題を出し合い、解決策を共有しています」
「2024年5月期は売上高14億円と増収でした。会社の展開をお話してください」
「非鉄金属の加工などに使用するダイヤモンドチップの再研削など、国内の研削業ではあまりない再研削技術が強みです。営業マンの機動力を武器に市場のニーズを捉えた事業戦略を打ち出し、会社を成長軌道に乗せたい」